



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月2日

上場会社名 株式会社 東海理化電機製作所
 コード番号 6995 URL <http://www.tokai-rika.co.jp>

上場取引所 東 名

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 牛山 雄造

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 粕谷 実也

TEL 0587-95-5211

四半期報告書提出予定日 平成23年2月3日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	248,508	5.3	16,410	67.4	16,938	47.5	2,962	△58.7
22年3月期第3四半期	235,945	△16.7	9,803	5.6	11,481	26.7	7,177	336.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	32.80	—
22年3月期第3四半期	79.46	79.46

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	256,007	158,566	60.3	1,708.11
22年3月期	269,737	163,550	59.1	1,763.45

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 154,272百万円 22年3月期 159,281百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	8.00	—	24.00	32.00
23年3月期	—	16.00	—		
23年3月期 (予想)				16.00	32.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	332,000	0.3	21,600	19.8	21,900	7.5	6,000	△52.4	66.43

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）
(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 94,234,171株 22年3月期 94,234,171株
② 期末自己株式数 23年3月期3Q 3,916,329株 22年3月期 3,910,512株
③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 90,322,206株 22年3月期3Q 90,322,251株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. その他の情報	P. 3
(1) 重要な子会社の異動の概要	P. 3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	P. 3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	P. 4
3. 四半期連結財務諸表等	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計書	P. 8
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 10
(5) セグメント情報	P. 10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 11
4. 決算概要	P. 12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、米国や欧州の景気回復、新興国の堅調な成長に牽引されたことで回復基調を維持していましたが、各国の政府支援策の終了、金融引締めの影響を受け、その回復は徐々に鈍化傾向となりました。

自動車業界におきましては、景気回復傾向の米国、成長を維持している中国やインドでは、前年同期に比べ、販売台数が増加しました。一方、景気の回復状況が不安定な欧州、自動車販売促進策が終了した日本では、前年同期に比べ、販売台数が減少となりましたが、全体としては、堅調に推移しました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、連結売上高は248,508百万円と、前年同四半期に比べ12,563百万円(5.3%)の増収となり、利益につきましては、連結営業利益は16,410百万円と、前年同四半期に比べ6,607百万円(67.4%)の増益となりました。連結経常利益は16,938百万円と、前年同四半期に比べ5,457百万円(47.5%)の増益となりました。しかしながら、連結四半期純利益は客先の市場回収処置に伴い、製品保証引当金繰入額を特別損失として計上したため2,962百万円の利益となり、前年同四半期に比べ4,215百万円(△58.7%)の減益となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

(日本)

客先生産台数の増加などにより、売上高は179,907百万円と、前年同四半期に比べ4,402百万円(2.5%)の増収となりました。営業利益は、売上高の増加や合理化等に積極的に取組んだことにより7,630百万円と、前年同四半期に比べ4,209百万円(123.0%)の増益となりました。

(北米)

客先生産台数の増加などにより、売上高は42,654百万円と、前年同四半期に比べ936百万円(2.2%)の増収となりました。営業利益は、売上高の増加や合理化等の効果により1,150百万円と、前年同四半期に比べ315百万円(37.7%)の増益となりました。

(アジア)

客先生産台数の増加などにより、売上高は44,039百万円と、前年同四半期に比べ8,830百万円(25.1%)の増収となりました。営業利益は、売上高の増加などにより7,135百万円と、前年同四半期に比べ2,597百万円(57.2%)の増益となりました。

(その他)

売上高は10,838百万円と、前年同四半期に比べ1,026百万円(△8.6%)の減収となりました。営業利益は、334百万円と、前年同四半期に比べ249百万円(△42.6%)の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産は256,007百万円となり、前連結会計年度末に比べ13,730百万円減少いたしました。これは、主に売上債権の減少などによるものであります。

(負債)

負債は97,440百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,747百万円減少いたしました。これは、主に仕入債務の減少などによるものであります。

(純資産)

純資産は158,566百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,984百万円減少いたしました。これは、主に円高による為替換算調整勘定の減少などによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、59,437百万円となり、前連結会計年度末より5,108百万円増加いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は22,183百万円となりました。これは主に売上債権の減少額12,278百万円と減価償却費11,281百万円等による増加と仕入債務の減少額4,598百万円等による減少の結果であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は10,015百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出11,150百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は5,138百万円となりました。これは主に配当金の支払額3,612百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の世界経済は、新興国の成長が牽引することで回復ペースが鈍化しつつも緩やかな回復基調が続く見込みですが、米国の雇用や所得環境の改善遅延、欧州での信用不安の再燃、新興国での金融引締めによる成長鈍化などの懸念材料もあり、不安定な状況が続くものと思われまます。

自動車業界におきましては、自動車販売促進策が終了した日本や緊縮財政により内需が停滞している欧州での販売台数が低迷するものの、中国、インド、アセアンでの販売台数が堅調に推移することから、全体では前年同期を若干上回ると見込まれます。

このような経営環境のもと、収益確保に向けた様々な施策を実行しつつ、お客様の期待に応える「品質の東海理化」の確立のため、品質基盤の更なる強化を図る活動に取り組んでまいります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

(棚卸資産の評価方法)

四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し第2四半期連結会計期間末に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法によっております。

(繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法)

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②特有の会計処理

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、税引前四半期純損失となった場合等には、法定実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分）及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号 平成20年3月10日）を適用しております。

これによる経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

②企業結合に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）、「「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正」（企業会計基準第23号 平成20年12月26日）、「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しております。

③資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益が184百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は219百万円であります。

3. 四半期連結財務諸表等
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,426	23,484
受取手形及び売掛金	45,877	59,796
有価証券	41,632	34,811
商品及び製品	5,884	6,451
仕掛品	10,593	11,201
原材料及び貯蔵品	3,857	3,988
その他	15,085	11,934
貸倒引当金	△46	△46
流動資産合計	147,311	151,620
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	26,330	27,933
機械装置及び運搬具（純額）	19,958	23,050
その他（純額）	22,762	23,129
有形固定資産合計	69,051	74,113
無形固定資産	2,094	2,518
投資その他の資産		
投資有価証券	22,567	26,584
その他	15,107	15,021
貸倒引当金	△125	△120
投資その他の資産合計	37,549	41,485
固定資産合計	108,695	118,117
資産合計	256,007	269,737

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,708	46,250
短期借入金	3,362	4,674
1年内返済予定の長期借入金	274	273
未払法人税等	740	3,297
賞与引当金	2,877	5,782
製品保証引当金	8,082	4,087
その他の引当金	204	234
その他	16,135	15,188
流動負債合計	71,386	79,789
固定負債		
長期借入金	7,885	8,286
退職給付引当金	17,035	17,094
その他の引当金	549	515
資産除去債務	219	—
その他	363	500
固定負債合計	26,053	26,397
負債合計	97,440	106,187
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,856	22,856
資本剰余金	25,134	25,134
利益剰余金	122,561	123,234
自己株式	△7,043	△7,035
株主資本合計	163,508	164,189
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	202	507
為替換算調整勘定	△9,438	△5,415
評価・換算差額等合計	△9,235	△4,908
新株予約権	614	524
少数株主持分	3,679	3,744
純資産合計	158,566	163,550
負債純資産合計	256,007	269,737

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	235,945	248,508
売上原価	204,447	211,147
売上総利益	31,497	37,360
販売費及び一般管理費	21,693	20,950
営業利益	9,803	16,410
営業外収益		
受取利息	314	384
受取配当金	94	142
持分法による投資利益	—	381
為替差益	677	—
助成金収入	570	—
その他	402	448
営業外収益合計	2,059	1,358
営業外費用		
支払利息	161	187
持分法による投資損失	35	—
為替差損	—	569
その他	183	73
営業外費用合計	381	830
経常利益	11,481	16,938
特別利益		
新株予約権戻入益	12	61
特別利益合計	12	61
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	184
製品保証引当金繰入額	—	12,535
投資有価証券評価損	—	3
特別損失合計	—	12,722
税金等調整前四半期純利益	11,494	4,276
法人税等	3,854	764
少数株主損益調整前四半期純利益	—	3,512
少数株主利益	463	549
四半期純利益	7,177	2,962

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,494	4,276
減価償却費	12,413	11,281
のれん及び負ののれん償却額	26	2
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△14	9
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,669	△2,892
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△1,212	4,058
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△405	△361
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△35	34
受取利息及び受取配当金	△409	△527
支払利息	161	187
為替差損益 (△は益)	△881	440
持分法による投資損益 (△は益)	35	△381
有形固定資産除売却損益 (△は益)	94	223
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	3
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	184
売上債権の増減額 (△は増加)	△19,123	12,278
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,713	33
仕入債務の増減額 (△は減少)	15,103	△4,598
未払消費税等の増減額 (△は減少)	396	△329
その他	2,786	4,449
小計	17,045	28,371
利息及び配当金の受取額	408	516
利息の支払額	△158	△200
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	3,048	△6,503
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,345	22,183
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却及び償還による収入	3,000	2,305
有形固定資産の取得による支出	△8,659	△11,150
有形固定資産の売却による収入	53	224
投資有価証券の取得による支出	△163	△103
投資有価証券の売却による収入	7	4
子会社株式の取得による支出	△36	△3
関係会社株式の取得による支出	—	△69
貸付けによる支出	△243	△234
貸付金の回収による収入	195	230
その他	128	△1,218
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,716	△10,015

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,610	△1,092
長期借入れによる収入	7,451	79
長期借入金の返済による支出	△132	△42
リース債務の返済による支出	△83	△75
配当金の支払額	△1,447	△3,612
少数株主への配当金の支払額	△187	△385
少数株主からの払込みによる収入	175	—
自己株式の取得による支出	△1	△12
その他	6	4
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,169	△5,138
現金及び現金同等物に係る換算差額	△208	△1,921
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	18,589	5,108
現金及び現金同等物の期首残高	25,008	54,329
現金及び現金同等物の四半期末残高	43,597	59,437

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

当社グループは、スイッチ類、シートベルト、キーロック、シフトレバー等、自動車用部品の専門メーカーであり、当該部品の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び、営業利益の生じているセグメントの営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	150,294	41,643	32,177	11,829	235,945	—	235,945
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	25,210	75	3,032	34	28,353	△28,353	—
計	175,505	41,718	35,209	11,864	264,298	△28,353	235,945
営業利益	3,421	835	4,538	583	9,378	425	9,803

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米……………アメリカ、カナダ

(2) アジア……………中国、台湾、フィリピン、タイ

(3) その他の地域…イギリス、チェコ、ブラジル、ベルギー

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	41,178	37,679	12,520	91,378
II 連結売上高（百万円）				235,945
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	17.4	16.0	5.3	38.7

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米……………アメリカ、カナダ

(2) アジア……………中国、台湾、フィリピン、タイ

(3) その他の地域…イギリス、チェコ、ブラジル、ベルギー

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

[セグメント情報]

① 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、意思決定機関において、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、スイッチ類、シートベルト、キーロック、シフトレバー等、自動車用部品の専門メーカーであり、国内においては当社、連結子会社8社及び関連会社3社が、海外においては各地に設立した連結子会社20社及び関連会社3社が、それぞれ生産・販売を担当しております。

当社では、経営管理区分上、各子会社を地理的近接度等によって区分、集計し業績の評価を行っております。

したがって、当社は、主に生産・販売体制及び量的規模を勘案した、「日本」、「北米」及び「アジア」の3つを報告セグメントとしております。

② 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	北米	アジア	計				
売上高								
外部顧客への売上高	154,055	42,539	41,100	237,696	10,812	248,508	—	248,508
セグメント間の内部 売上高又は振替高	25,851	114	2,938	28,904	26	28,931	△28,931	—
計	179,907	42,654	44,039	266,600	10,838	277,439	△28,931	248,508
セグメント利益	7,630	1,150	7,135	15,915	334	16,250	159	16,410

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州及び南米の現地法人の事業活動を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額159百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 平成23年3月期第3四半期 決算概要

連結

① 第3四半期実績及び通期見通し

(単位：億円未満切り捨て、%)

	平成22年3月期 (第3四半期)		平成23年3月期 (第3四半期)		対前年同四半期増減		平成23年3月期 (通期見通し)	
	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
売上高	2,359	100.0	2,485	100.0	126	5.3	3,320	100.0
営業利益	98	4.2	164	6.6	66	67.4	216	6.5
経常利益	114	4.9	169	6.8	55	47.5	219	6.6
四半期(当期)純利益	71	3.0	29	1.2	-42	-58.7	60	1.8

② 製品別売上高

(単位：億円未満切り捨て、%)

	平成22年3月期 (第3四半期)		平成23年3月期 (第3四半期)		対前年同四半期増減		平成23年3月期 (通期見通し)	
	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
スイッチ類	884	37.5	968	39.0	84	9.5	1,284	38.7
シートベルト	497	21.1	514	20.7	17	3.4	691	20.8
キーロック	433	18.3	454	18.3	21	4.7	603	18.2
シフトレバー	197	8.4	220	8.9	23	11.9	300	9.1
ステアリングホイール	84	3.6	79	3.2	-5	-5.7	105	3.2
自動車用ミラー	80	3.4	61	2.5	-19	-23.5	86	2.6
装飾品	29	1.3	32	1.3	3	8.6	44	1.3
その他	151	6.4	153	6.1	2	0.5	205	6.1
売上高合計	2,359	100.0	2,485	100.0	126	5.3	3,320	100.0

③ 経常利益増減要因

(対前年同四半期比較)

(単位：億円)

要因	金額
増益要因	
・ 操業変動による利益増	65
・ 原価改善	54
・ 減価償却費の減他	11
計	130
減益要因	
・ 売価変動	27
・ 為替変動による利益減	26
・ 原材料価格の影響	7
・ 人件費の増	4
・ 営業外収支の減	11
計	75
差引経常利益 増	55

④ セグメント

(単位：億円未満切り捨て、%)

		平成22年3月期 (第3四半期)	平成23年3月期 (第3四半期)	対前年同四半期増減	
		金額	増減率	金額	増減率
売上高	日本	1,755	1,799	44	2.5
	北米	417	426	9	2.2
	アジア	352	440	88	25.1
	その他	118	108	-10	-8.6
	消去	-283	-289	-	-
	合計	2,359	2,485	126	5.3
営業利益	日本	34	76	42	123.0
	北米	8	11	3	37.7
	アジア	45	71	26	57.2
	その他	5	3	-2	-42.6
	消去	4	1	-	-
	合計	98	164	66	67.4

⑤ 財政状態

(単位：億円未満切り捨て、%)

	平成22年3月期	平成23年3月期 (第3四半期)	対前期増減
総資産	2,697	2,560	-137
純資産	1,635	1,585	-50
自己資本比率	59.1	60.3	1.2
1株当たり純資産	1,763円45銭	1,708円11銭	-55円34銭

⑥ 指標

	平成22年3月期 (第3四半期)	平成23年3月期 (第3四半期)	対前年同四半期増減	平成23年3月期 (通期見通し)
1株当たり四半期(当期)純利益	79円46銭	32円80銭	-46円66銭	66円43銭
1株当たり配当金	—	—	—	32円00銭
発行済株式数	94,234千株	94,234千株	—千株	—
連単倍率				
売上高	1.32倍	1.36倍	—	1.36倍
経常利益	1.61倍	1.40倍	—	1.35倍
期末人員	15,223人	15,083人	-140人	15,300人
為替レート				
US\$	92円	86円	-6円	85円
ユーロ	132円	111円	-21円	111円
設備投資	56億円	77億円	21億円	135億円
減価償却費	124億円	112億円	-12億円	150億円
研究開発費	121億円	124億円	3億円	172億円
連結子会社数	28社	28社	—	28社
持分法適用会社数	6社	6社	—	6社

⑦ 業績等の推移

(単位：億円未満切り捨て、%)

	平成19年3月期 (通期)		平成20年3月期 (通期)		平成21年3月期 (通期)		平成22年3月期 (通期)		平成23年3月期 (通期見通し)	
売上高	4,051	100.0	4,400	100.0	3,374	100.0	3,310	100.0	3,320	100.0
営業利益	248	6.1	333	7.6	8	0.2	180	5.4	216	6.5
経常利益	265	6.5	344	7.8	10	0.3	203	6.2	219	6.6
当期純利益	179	4.4	212	4.8	10	0.3	126	3.8	60	1.8
設備投資	203億円		211億円		158億円		111億円		135億円	
減価償却費	159億円		178億円		188億円		165億円		150億円	
研究開発費	177億円		183億円		179億円		166億円		172億円	
1株当たり配当金	34円00銭		48円00銭		32円00銭		32円00銭		32円00銭	

<参考>

個別

① 第3四半期実績及び通期見通し

(単位：億円未満切り捨て、%)

	平成22年3月期 (第3四半期)		平成23年3月期 (第3四半期)		対前年同四半期増減		平成23年3月期 (通期見通し)	
	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
売上高	1,783	100.0	1,823	100.0	40	2.2	2,440	100.0
営業利益	31	1.8	73	4.0	42	134.1	114	4.7
経常利益	71	4.0	121	6.6	50	69.6	162	6.6
四半期(当期)純利益	49	2.8	7	0.4	-42	-85.8	73	3.0

② 業績の推移

(単位：億円未満切り捨て、%)

	平成19年3月期 (通期)		平成20年3月期 (通期)		平成21年3月期 (通期)		平成22年3月期 (通期)		平成23年3月期 (通期見通し)	
売上高	3,023	100.0	3,226	100.0	2,481	100.0	2,482	100.0	2,440	100.0
営業利益	162	5.4	191	5.9	-49	-2.0	74	3.0	114	4.7
経常利益	190	6.3	235	7.3	-23	-0.9	117	4.7	162	6.6
当期純利益	129	4.3	124	3.9	-29	-1.2	78	3.2	73	3.0